1 この科目の構成について

教　　科	芸術科	科　　目	専攻別造形演習	単　　位	７単位
対象コース	美術コース	対象クラス	３年８・９組		
使用教科書	美術□（光村図書）				
使用副教材					

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学 習 目 標　　―この科目を学習して何を身に付けてほしいのか―

２年次後半よりデザイン系と絵画系（ファインアート）に専攻を分けて実習してきた。
デザイン系はグラフィック、プロダクトなど各種のデザインを学び、絵画系（ファインアート）は油彩、日本画、彫刻、版画など各種の純粋芸術の分野を学ぶ。
主に卒業制作と受験課題を各自の専攻で制作する。
また１２月に行う作品展を通して、美術展の企画と運営を学び、作品展示に関する基本的な知識を得る。

学 習 内 容　　―この科目で学習する大まかな内容―

①専攻別デッサン
　前期は広い分野で応用出来る基礎的なデッサンを中心として制作。
　後期より各自の実技試験に合わせて個別課題を制作する。
　　石膏デッサン、静物デッサン、自画像デッサン、手のデッサン、想定デッサン、構成デッサン、
　　平面構成、静物油彩、自画像油彩、配布モチーフと言葉のイメージをテーマにした油彩、静物着彩等
②スケッチ（画材自由）
　Ｂ３画用紙水張りパネルに水彩、アクリルガッシュまたはアクリルガッシュを、専攻別に選択して描く
③卒業制作
　各自の専攻分野で作品を１点～２点制作。
　規定：油彩Ｆ５０以上、ＣＧ・アクリルＢ１以上、日本画Ｆ３０以上、着彩Ｂ１以上、映像５分以上

学 習 方 法　　―この科目を学校と家庭でどのように学習すればいいのか―

（１）学校
　　主に授業時間内で実習し、放課後等、課外時間も有効に使って学習する。
　　また受験対策として放課後を毎日実施する。更に春期講習、夏期講習、年度末講習の実施によって実力をつける。

3 この科目の評価方法について

評 価 方 法　　―何を使って評価するのか―

完成した作品によって評価する。
技術的、創造的に優れた作品を評価する他、完成するまでの課程、取り組みの姿勢を見る。各自の力量に合わせた努力度、熱心さ等を加味し、平常点として評価に加える。

評価における定期考査の割合
０％

4 この科目の評価の観点について

評 価 の 観 点　　―この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか―

（１）関心・意欲・態度
　　課題に取り組む意欲、態度

（２）思考・判断
　　画面全体を構成する総合的判断力、イメージを作る創造力。

（３）技能・表現
　　構成力、色彩感覚、表現力、描写力。

（４）知識・理解
　　各種素材、画材に対する知識の理解度。

5 この科目の学習計画について

年間学習計画　　―この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか―				重視する評価の観点			
期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知
1	5	スケッチ実習	・「八戸市内の風景を描く」約１０時間 画材：Ｆ８画用紙パネル水張り 透明水彩またはアクリルガッシュの選択	●	●	●	●
	7	専攻別課題デッサン	・「専攻別課題デッサン」　１０時間 多摩美術大学系課題題 デザイン系　Ｂ３画用紙に鉛筆　手と静物の構成 絵画系　　Ｂ３画用紙に鉛筆　手渡しモチーフ構成デッサン	●	●	●	●
	8	専攻別改題デッサン②	・「専攻別課題デッサン）」１７時間 武蔵野美術大学系の出題 デザイン系　Ｂ３画用紙に鉛筆 静物デッサン 絵画系　　木炭紙に木炭または木炭紙大画用紙に鉛筆 静物セットモチーフ 同時に卒業制作のエスキースチェック	●	●	●	●
2	9	卒業制作①	・「卒業生制作①」７２時間 各自の専攻分野で作品を１点～２点制作。 平面作品の他、映像作品、立体作品など多様な領域で制作する。 規定： 油彩Ｆ５０以上、ＣＧ・アクリルＢ１以上、日本画Ｆ３０以上 着彩Ｂ１以上、映像５分以上 画材：油彩、日本画、ＣＧ、透明水彩、アクリルガッシュなど	●	●	●	●
	10	美術系大学受験対策課題 美大受験生以外：卒業制作②	・「美術系大学受験対策課題・卒業制作②」７７時間 個別課題 授業と放課後講習を使って制作 前期：基礎的デッサン中心 後期：実技試験に合わせた個別課題 石膏デッサン、静物デッサン、自画像デッサン、手のデッサン、想定デッサン、構成デッサン、平面構成、静物油彩、自画像油彩、配布モチーフと言葉のイメージをテーマにした油彩、静物着彩等	●	●	●	●
	12		・「卒業制作②」 卒業制作の２点目。 道徳教育を実施：作品展に向けた制作をとおし、芸術を通しての外部への働きかけを学び、私的な制作から、公的な制作への転換と、芸術の果たす社会での役割を学ぶ。	●	●	●	●
		地域活性化企画 受験個別課題 ※並行して実施	・「地域活性化企画」３０時間 地域を活性化させるためのイベントや街づくりの企画を提案する課題。八戸市を中心とした県南地区で考案する。グループを作って作業し、パワーポイントを使ってプレゼンテーションを行う。問題発見能力、解決能力、企画力を養い、グループ制作によりコミュニケーション能力を向上させる。 ・「受験個別課題」 一般入試に対応した個別課題制作	●	●	●	●

年間学習計画　　―この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか―				重視する評価の観点			
期	月	学　習　の　項　目	学　習　の　内　容	関	思	技	知

年間学習計画　　―この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか―				重視する評価の観点			
期	月	学　習　の　項　目	学　習　の　内　容	関	思	技	知